

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和2年7月22日（水）午前11時から

会 場：アオーレ長岡東棟4階 大会議室

【会見項目1：新型コロナウイルス感染症対策など

7月臨時会に約7億5千万円の補正予算を提案】

（市長）

7月31日に予定している7月臨時会で提案する、新型コロナウイルス感染症対策事業などについて、説明いたします。新型コロナウイルス感染症対策の補正予算は、今回で第7次となります。国の地方創生臨時交付金を有効活用しながら、経済対策、市民活動支援、感染症防止対策など、これまで十分に手当てできなかった部分を手当てするとともに、ポストコロナを見据えた将来への投資にも取り組む経費として、7億2,996万4千円を計上します。そのほかに、災害対策関係経費として、2,400万円を計上し、総額7億5,396万4千円の補正予算となっています。

添付資料の1、2ページに補正予算の概要として、主な事業とその予算を載せています。3ページ以降に、さらに抜粋して事業概要を掲載しており、それらの事業内容について説明します。

I 新型コロナウイルス感染症対策関係経費の1 地域経済・市民活動支援（1）設備導入サポート補助金について説明します。現在、長岡商工会議所や長岡地域商工会と協力して行っているビジネスサポート事業補助金がとても好評なため、今回はこれまでの緊急的な感染対策費用の補てんからさらに発展して、ビジネスモデルの転換やポストコロナを見据えた事業展開を目指す事業者の設備導入を支援します。最大50万円の補助を300件分として、1億5千万円用意します。多くの事業者の皆さまから将来に向けたチャレンジをしていただきたいと思います。

（3）市内宿泊・日帰り旅行応援キャンペーン事業は、6月の補正予算で始めたキャンペーンが、とても好評なため、さらに割引内容などを見直しして、より多くの宿泊施設の利用を促進するものです。見直しの内容は、対象者を長岡市民限定から、長岡市内への通勤、通学者も加えることのほか、キャンペーン利用率の高い施設には予算を増額します。また、ビジネスホテルや小規模施設など、キャンペーン利用率が伸び悩んでいるところには宿泊特典を付けて支援します。

（4）市内会食応援キャンペーン事業は、広い宴会場を持つ料亭や割烹などの飲食店の利用を活性化するためのものです。個人単位や少人数のグループでの飲食は、利用が再開されつつありますが、ある程度の人数による会食は、厳しい状況が続いていることから、十分な感染防止対策に取り組んでいる料亭や割烹などを、市民等が利用する際の経費を支援することで活性化を促します。

(5) 長岡名産品付き宿泊プラン造成支援事業は、市内宿泊施設に宿泊した方に、長岡の地酒や名産品を自宅に届けるという宿泊プランを造成する宿泊事業者を支援するものです。これは、G o T oキャンペーンなどによる市内宿泊をさらに促進するという意味のほかに、需要が落ちている地酒やお土産品の生産者を支援するという意味もあります。

(7) 緊急雇用等対策事業費について、一つ目の学生のインターンシップ・職場実習受入支援金は、学生のインターンシップを受け入れた場合に一人につき1日2千円の受け入れ費用を、障害者等の職場実習を一人につき5日以上受け入れた場合に3万円の受け入れ費用を支援するものです。これにより、新型コロナウイルス感染症の影響で滞っているインターンシップや職場体験の受け入れを促進し、就職活動の機会拡大と求人の活性化を図ります。二つ目の再就職合同企業説明会開催委託料は、新型コロナウイルス感染症の影響で離職された方が早期に再就職できるよう、企業説明会を月2回程度開催していきたいと思っています。人が集まらなくて困っているという業界もありますので、そのような企業に集まっていただき、再就職の後押しをしたいと考えています。

(8) 市民活動支援事業は、市民活動団体の活動資金や感染防止経費を支援するために、6月補正予算で、1団体につき上限10万円として200件分の2,000万円計上した、新型コロナウイルス感染症にまけない市民活動団体奨励金について、さらに200件分の追加予算を計上するものです。これは、7月21日現在で80件の申請があることと、さらに問い合わせが増加していることを踏まえて、より多くの団体から活用いただくためです。私も地域に出た際は、この奨励金の活用を勧めています。

3 感染症拡大防止対策(1) 感染症予防事業は、市内基幹3病院が行う設備増強に対して約6千万円を補助するものです。これにより、感染拡大の第2波、第3波に対応するための医療体制を確保します。

4 その他(1) 環境保全型農業推進事業は、栃尾地域で多発している、サルによる農作物被害への対策です。新型コロナウイルス感染症の影響により、集団で協力して対策活動をするのが難しくなっている中で、人が見まわる必要をなくすためにICT技術を活用したセンサーをつけた捕獲わなを設置するとともに、追い払いに必要な花火などの資材も購入したいと思っています。

II 災害対策関係経費の介護サービス事業所等災害対策事業費補助金は、先般の熊本県を中心とした豪雨災害の中で、球磨川沿いの特別養護老人ホーム千寿園において大きな被害が出たことを受けて、信濃川沿いなどの洪水浸水想定区域内にある特別養護老人ホームなど80施設に対して、リフトやストレッチャーなどの避難用具、災害備蓄品の購入費などを支援するためのものです。

引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策、経済対策、市民活動支援、また水害を前提とした防災対策に力を入れていきたいと思っています。

(記者)

補正予算のうちの、国費や市費などの内訳について教えてください。

(財政課長)

市の一般財源が2,400万円で、それ以外は、ほぼ国と県の補助金です。なお、そのうち6億6,624万9千円が国の第2次補正予算で措置された新型コロナウイルス対策の臨時交付金です。

(記者)

環境保全型農業推進事業における、捕獲わなの設置は、今年度中に実施できますか。

(市長)

予算成立後に速やかに購入し、設置したいと思っています。

(記者)

設備導入サポート補助金について、新常态、ビジネスモデルの転換とは、どのようなものが対象になりますか。また、これまでのビジネスサポート事業との違いを教えてください。

(市長)

ビジネスサポート事業は、当座必要な感染症対策などの経費として10万円を支援するものでしたが、今回の補助金は、新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えて事業継続するために行う、設備導入を支援するものです。販売であれば、店舗の改装や新しいショーケースを導入するなどの投資であり、製造業であれば、新たな製造装置を導入して生産性を向上させるなどの投資が補助の対象です。

事業の立て直しや発展を目指すために行う前向きな投資に対して、審査を緩やかにして積極的に支援していきたいという趣旨です。

(記者)

現状で想定できる新型コロナウイルス対策としては、今回の第7次補正で一区切りするという認識でしょうか。

(市長)

これで一区切りという認識ではありません。いざというときのために、さらに備えを厚くすることが必要だと思っています。

【会見項目2：長岡まつり、平和祈念行事の開催について】

(市長)

今年は、慰霊と復興、平和への思いに加えて、新型コロナウイルス終息の願いを込めて、一味違う長岡まつりを開催します。大花火大会は残念ながら中止といたしましたが、平和祭や昼行事については、それぞれの主催団体が検討を重ね、感染拡大防止を重視した内容で開催します。

一つ目が、「おうちで平和祭」です。例年大手通りで開催している大民踊流しやみこし渡御とぎよに代わり、今年はウェブ会議システム「Z o o m」を使い、自宅で参加できるリモート大民踊流しを開催します。

二つ目は、「わたしの長岡花火コンテスト」です。これは、長岡花火への想いを表現した動画や静

止画をSNSに投稿していただき、入賞者には花火にちなんだ賞品を贈るという企画です。

三つ目は、「なつかしの長岡まつり」と「昭和の大手通写真展」です。例年行っている昼行事、ふれあい広場、わんぱくおまつり広場に代わり、大手通り周辺の商店街75店舗をはじめ、アオーレ長岡、フェニックス大手イーストスクエア、長岡駅などに、昭和の長岡まつりや大手通りの様子など200点以上の写真を展示し、長岡まつりの雰囲気懐かしみつつ、来年への期待を持っていただきたいというものです。

四つ目は、「ながおか旨めしグランプリ」です。自宅で長岡まつりを楽しんでいただくために各店が考案したテークアウトの特別メニューについて、注文した市民の皆さまから投票していただきグランプリを決定します。

以上、例年とは違う今年ならではの長岡まつりを、自宅などで楽しんでいただきたいと思います。

続いて、平和祈念行事について説明します。新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら、長岡市恒久平和の日である8月1日に、戦災で亡くなられた方々を追悼し平和を願う行事を開催いたします。

一つ目は、長岡市平和祈念式典です。昭和60年に始まった非核平和都市宣言市民の集いを引き継いで、平成27年から開催して今年で6回目となります。昨年は1,200人の方々にアオーレ長岡のアリーナに集まっていたが、今年の出席者は、ご遺族を中心とした関係者の皆さまに限定させていただき、250人規模で開催いたします。今年も引き続き、亡くなられた方々への黙祷や献花、中学生代表による非核平和都市宣言の朗読などを行い、追悼と平和への思いを発信したいと思っています。

二つ目は、鎮魂たむけの花と長岡空襲殉難者遺影の展示です。8月1日から3日までの3日間、アオーレ長岡市民交流ホールAを会場に、空襲で亡くなられた方々を追悼する市民献花を開催します。会場では、長岡空襲殉難者の遺影を展示いたします。

三つ目は、長岡空襲体験画特別展です。これは、本日までアオーレ長岡市民交流ホールAで開催している特別展を、まちなかキャンパス長岡に会場を移して追加開催するものです。また、8月1日から3日までは、アオーレ長岡ホワイエでも体験画の一部を展示します。

その他の平和行事については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、いずれの行事も関係者のみの限定的な実施となります。また、8月1日に開催していた、ながおか平和フォーラムは中止となりました。

(記者)

平和祈念式典は、開催時間も短縮されますか。

(庶務課長)

例年は約1時間の開催時間ですが、今年は40分を予定しています。

(記者)

8月1日から3日までアオーレ長岡市民交流ホールAで行う長岡空襲殉難者遺影展示は、戦災資料館の遺影を移設して展示するのですか。

(庶務課長)

期間中は戦災資料館でも展示を継続しますので、写真データから同じ遺影を作成してアオーレ長岡に展示します。

(記者)

長岡まつりの行事全体として、市民にはどのような思いで参加してほしいですか。

(市長)

大花火大会が中止になり、平和祭や昼行事も縮小されますが、長岡まつりは、長岡がある限り続くものです。また、新型コロナウイルス感染症拡大の中でできることを関係者の皆さまが精いっぱいやろうとしていますので、そのことは市民の皆さまにはご理解いただきながら、インターネットやテレビなどで楽しんでいただき、来年以降の長岡まつりに期待していただきたいと思います。縮小はしても立派な長岡まつりになると私は確信しています。

(記者)

長岡空襲から75年という節目の年ですが、市長の平和への思いについて聞かせてください。

(市長)

長岡空襲から75年目ということと、新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、健康で何げない日常を過ごせることが一番大切であり、平和とはまさしくそういうものであると改めて感じています。そして次の世代に向けて、この平和の尊さを伝えるために、長岡の戦争体験を語り継ぐことを改めてしっかりと取り組んでいきたいと感じています。

(記者)

長岡まつりの各イベントが中止や縮小される中で、慰霊の花火を打ち上げるという意味について教えてください。

(市長)

長岡まつりの原点として、どういう想いを込めて、花火を打ち上げているのかを再確認し、その想いを来年につなぐ意味があると考えています。

(記者)

長岡空襲から75年目ですが、関連行事などについては、今後いつか打ち切りにするという考えはありますか。

(市長)

むしろ逆に考えています。長岡のアイデンティティーであり、未来永劫に語り継いで大切にしていくなすべきものだと思います。

【会見項目3：道の駅「ながおか花火館」が9月18日（金）オープン】

（市長）

道の駅「ながおか花火館」が、9月18日金曜日の午前10時にオープンします。この道の駅は、長岡花火を核として、市内にある多様な地域資源の魅力を通年で発信する施設であり、ここに来れば、長岡の観光資源や地域の宝を、知ることも行くこともできるという長岡の観光拠点です。長岡花火ミュージアムの展示室やシアターなどを中心に、さまざまな施設が入ります。9月上旬には報道の方に内覧会をご案内いたしますので、ぜひお越しください。

また、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している中ですが、感染防止対策を徹底的に行い、安心して多くのお客さまから来ていただけるようにしたいと思っています。

本日は、市民の皆さまの関心も高いテナントの内容について、道の駅「ながおか花火館」の駅長である、指定管理者のトライデントながおか株式会社の武士俣さんからご説明いただきます。

（道の駅ながおか花火館 武士俣駅長）

レストランスペースには、ダイニングレストラン「HIGH AMBITION」が入ります。ビュッフェスタイルのレストランで、営業時間は、午前11時から午後10時までの予定です。

地場産品等販売スペースには、越後長岡御貢屋おみつぎやが入ります。長岡のお米、お酒、米菓に加えて特産品、工芸品、お土産品などを取りそろえます。営業時間は、午前10時から午後7時までの予定です。

フードコートには、定食、ラーメン、カレー、韓国料理、ピザ、フルーツサンド、スイーツといったバラエティーに富んだ12店舗が入ります。営業時間は、午前11時から午後8時までの予定です。

最後に、日用品等販売スペースには、コンビニエンスストアのセブンイレブンが入ります。こちらは24時間営業です。現在、9月18日のオープンに向けて各テナントが内装工事を進めているところです。

（記者）

オープン日を9月18日にした理由と、具体的な新型コロナウイルスの感染防止対策を教えてください。

（道の駅ながおか花火館 武士俣駅長）

オープン日を9月18日としたのは、まず多くの方々から来ていただきたいという理由から、シルバーウィークの初日に設定させていただきました。

新型コロナウイルスの感染防止対策については、基本的な取り組みとして、職員の手指の消毒とマスク着用、来場者への手指の消毒とマスク着用の周知を行わせていただきます。各スペースにおいても定期的な換気を行います。また、ソーシャルディスタンスを確保するために、満席にならないように席数を減数するなど、皆さまから安心して楽しんでいただけるような取り組みを考えています。

（記者）

目玉である長岡花火ミュージアムについて、どのようなものが楽しめるのか教えてください。

(市長)

長岡花火の感動を映像で楽しむことができるシアターがあります。大花火大会が中止にはなりましたが、通年で長岡花火が楽しめるということを認知していただき、多くの方々に来ていただきたいと思っています。

(記者)

本日から始まるG o T o トラベルキャンペーンについて、市長はどのように受け止めていますか。

(市長)

現状では、感染拡大地域からの観光客の受け入れは無理だと思います。感染拡大は東京だけの問題ではないと思いますので、花角新潟県知事と同様に、県内や近県から始めるべきだと考えています。受け入れ側が心配している状況では、結果的に観光業者への支援にはならないということを、国や旅行会社の皆さまには認識してもらいたいと思います。

(記者)

G o T o キャンペーン開始や、ながおか花火館オープンにより、全国から観光客が来るとは思います。が、どのような人たちに長岡に来てほしいと考えていますか。

(市長)

現状では、まず市内の方から、次に県内の方から来ていただきたいと思っています。安全を第一に考えて、東京など県外からの観光客を期待する段階ではないと思っています。

(記者)

お盆の帰省時期が近づいていますが、帰省の自粛を求める考えはありますか。

(市長)

現時点では帰省の自粛を求める考えはありませんが、大きな状況の変化があれば、自粛を求める必要が出てくる可能性もあると思っています。

(記者)

佐渡で初めて感染者が確認されたことについてどう思われますか。

(市長)

たまたま1人、2人の感染者が出たことを、重大な事態だとは考えていません。市中感染の拡大や、クラスターの発生、感染ルートが追えなくなることがあれば、深刻な状況だと思います。